

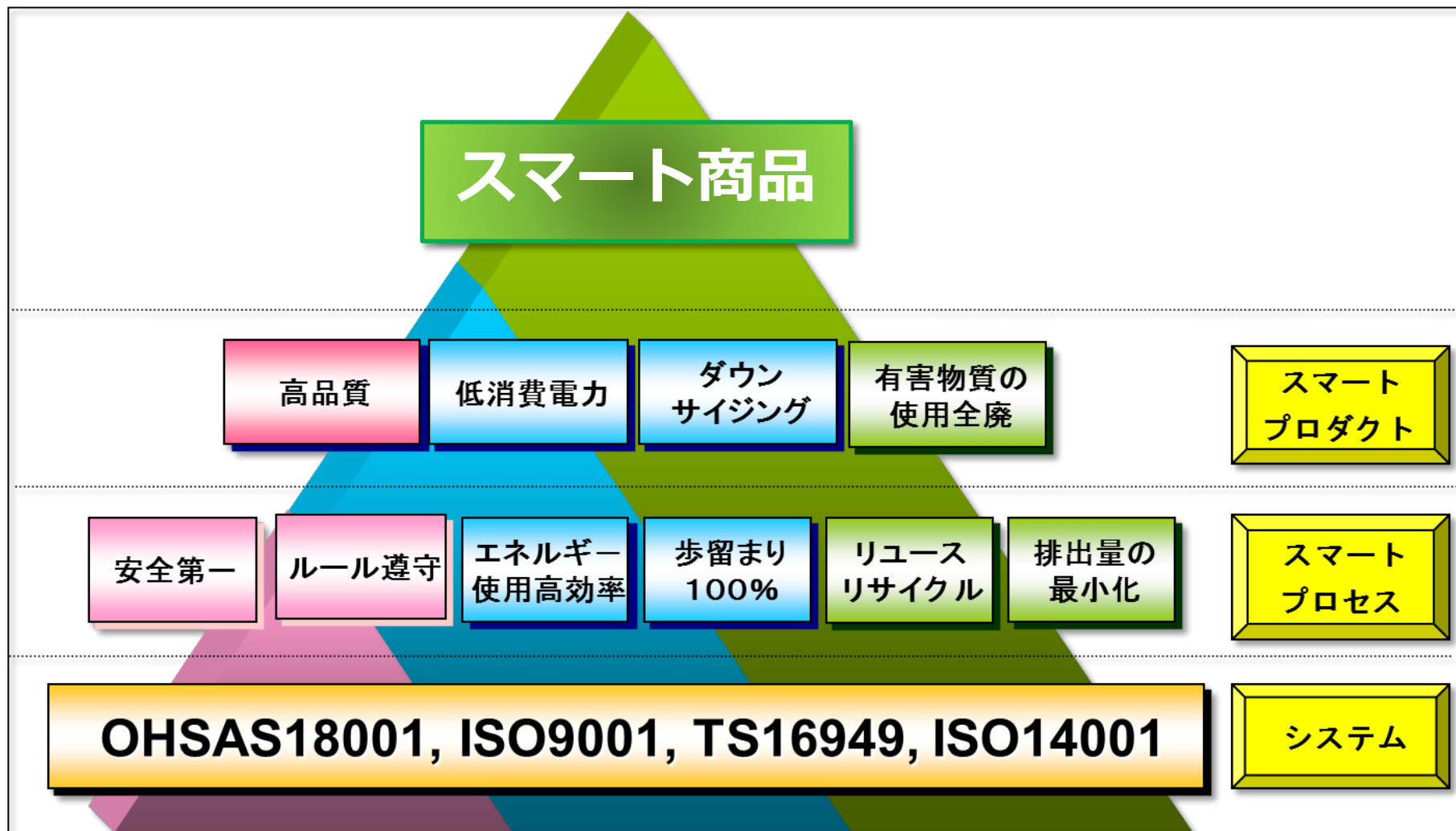
今後の経営方針

2016年5月11日

太陽誘電株式会社
代表取締役社長 登坂正一

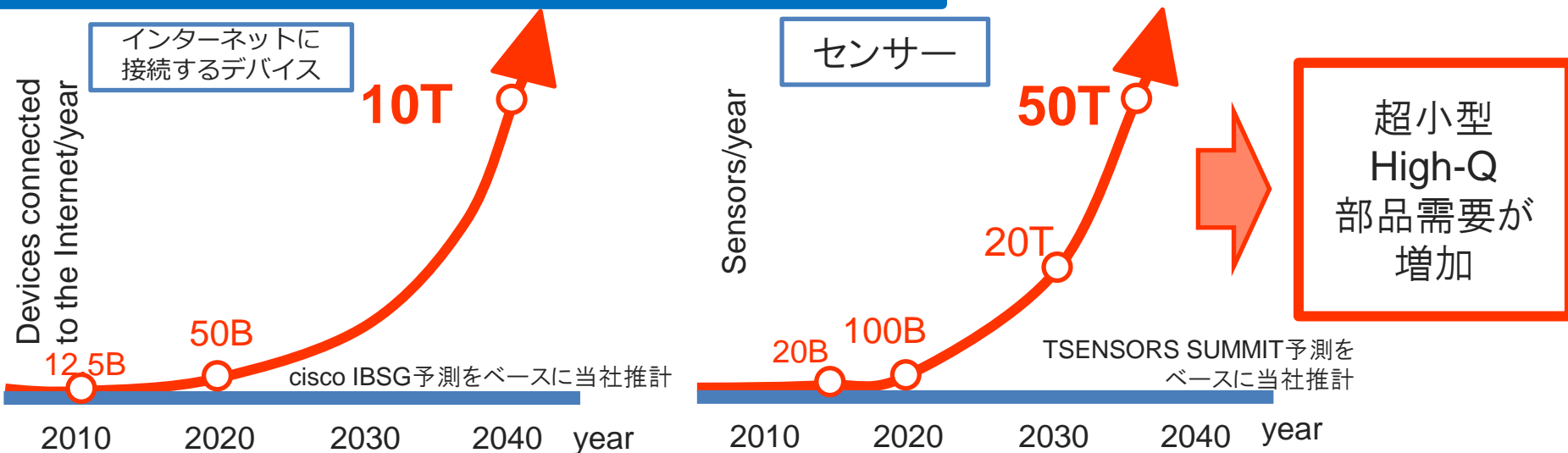
～ TAIYO YUDEN VISION ～

お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ



予見されるエレクトロニクス市場の近未来

爆発的な成長が予測されるIoTの世界



車載電子機器市場は電子化とエネルギーが鍵

情報系
1.7倍

ボディ系
1.6倍

車載市場：18兆円 (2012) ⇒ 30兆円 (2020)

JEITA (2013) 予測をベースに当社推計

安全系
1.9倍

駆動系
1.7倍

電気自動車、燃料電池車が急成長
大型・高耐圧・高信頼の部品需要が増加



高収益体質に向けたビジネスモデルの変革

利益

大

スーパーハイエンド商品と
高信頼商品による成長市場攻略
コンデンサ、インダクタ、通信デバイス

単純な回路・実装事業からの脱却
ソリューションによる新事業創出

素材

部品

ソリューション
アフターサービスの提供

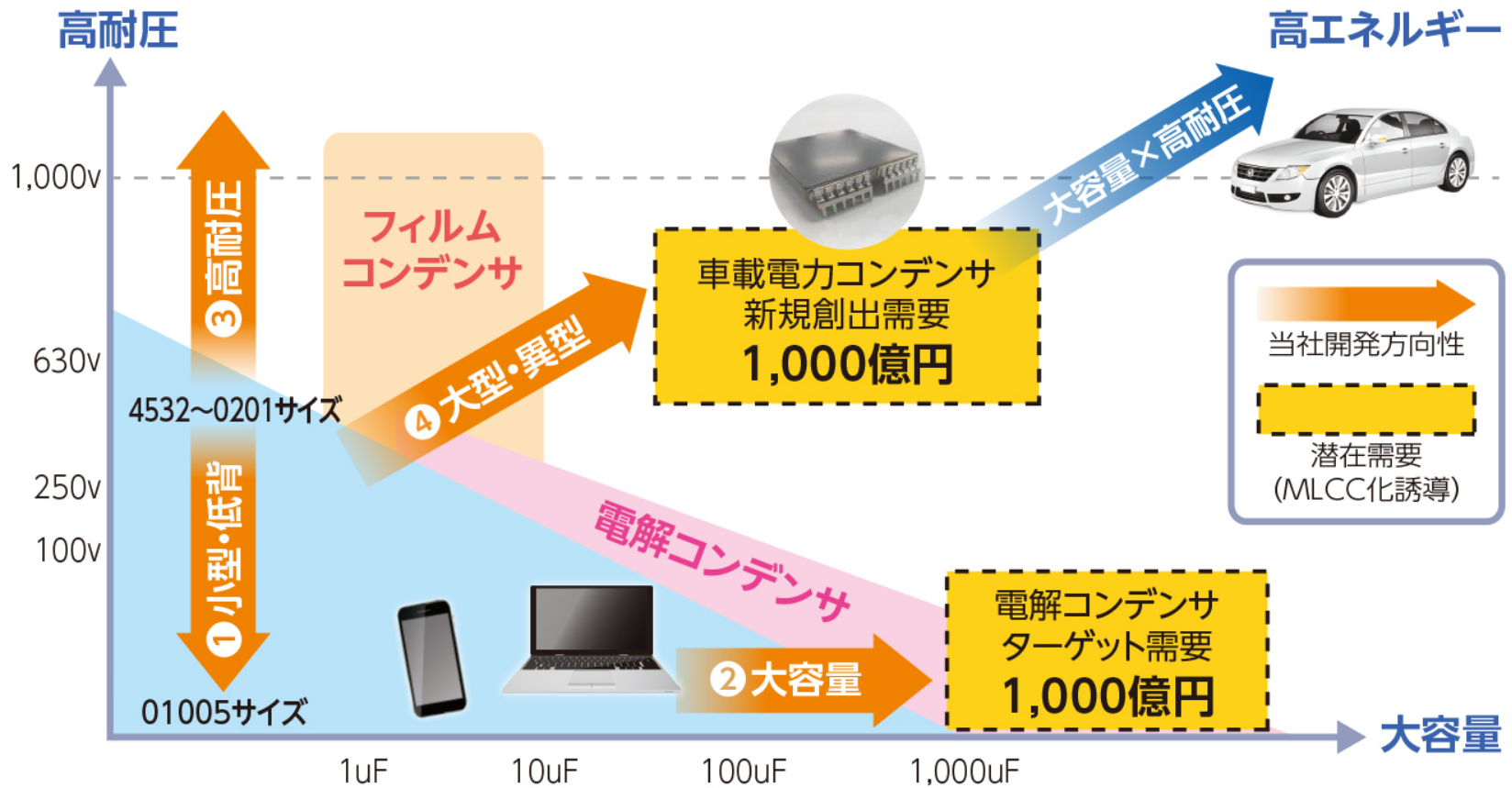
モジュール化
ソフトウェア

実装

組立

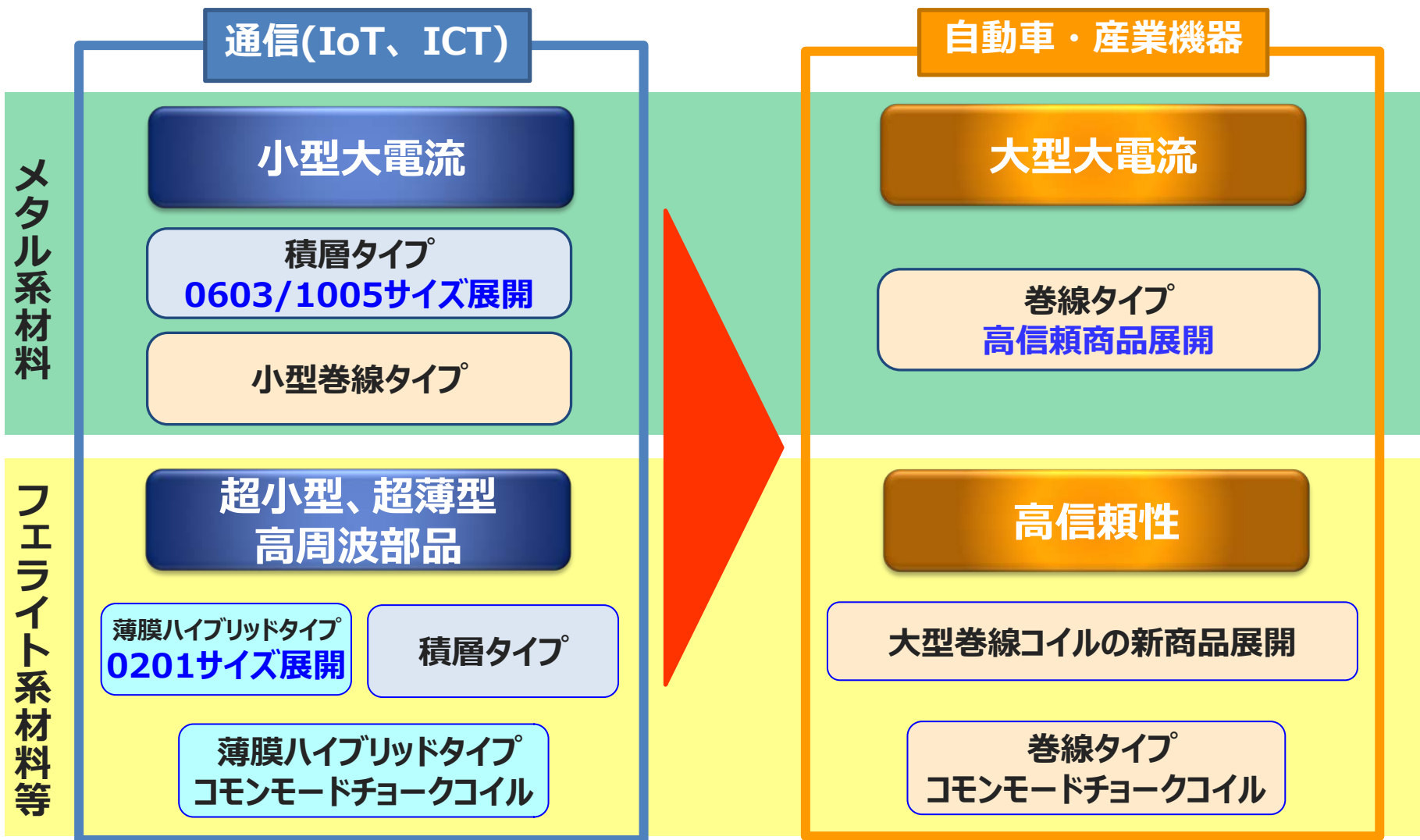
小

コンデンサ事業の方向性



- ① 小型、薄型化:機器の小型化に対応
- ② 大容量化:電解コンデンサ市場置換対応(2017年1,000uF商品化)
- ③ 高耐圧化:エネルギー市場対応(高信頼市場対応)
- ④ 大型、異型化:フィルムコンデンサ市場置換

材料技術・プロセス技術の高度化によるラインアップ拡充



通信デバイス事業の方向性

~2014年

4G LTE

2015年

CA・多Band

2016年~

Band拡張(~5GHz LAA)

LTE-Advanced (CA/MIMO)

高周波・狭隣接化

~1GHz

B17,13,20,5,18,8

2GHz

B11,21,3,9,39,25,2

3GHz~

B4,34,1,40,41,38,7,42,43

TC-SAW+TC-SAW Dup.

FBAR+TC-SAW Dup.

誘電体積層フィルタ

5

G

差別化のポイント

- 様々な技術を最適に商品化、全てのBandに対応
- 超小型高周波コンデンサ・インダクタとセット供給
- 世界最小のFBAR/SAW Hybrid Duplexer商品化

- 高信頼性、ミリ波帯域等、自動車向け商品展開加速

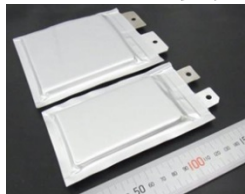
ソリューションによる新事業展開

LITHOSION™

シリンダ型
リチウムイオンキャパシタ



ラミネート型
リチウムイオンキャパシタ



エネルギー

PVモニタリング



電動アシスト回生



複合技術

光学技術

コア技術の融合 ソリューション提案

無線技術

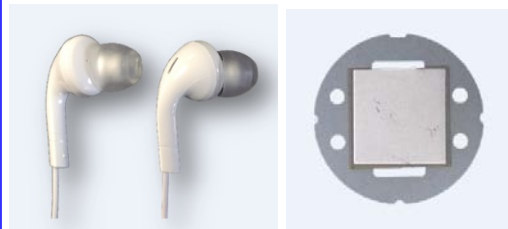
積層技術

表面処理 技術

電源技術

アクチュエータ (積層圧電体)

ハイレゾイヤホン



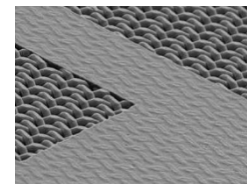
触覚技術



機能性表面処理膜



スクリーン・メタルマスク等



センサ

センサ+MRLD

光変位センサ



圧電圧力波センサ



成長する市場に対応

スーパーハイエンド商品と高信頼性商品の能力増強投資を継続
生産工法の変革を加速



生産工程へIoT投資、ビッグデータ分析
さらなる「ものづくり」体質の強化

総還元性向30%を目指す

2016年3月期

年15円配当（中間配当 5円、期末配当10円）

2017年3月期（予）

年20円配当（中間配当10円、期末配当10円）

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN